

# ヤングアダルト通信

VOL.135号 (2016.5)  
(発行:碧南市民図書館 0566-41-0894)

## ファンタジー の名作



妖精、魔法、ドラゴン、騎士…胸おどる空想の世界へナビゲートします！

### 『指輪物語 全6巻』

J.R.R.トールキン／著 評論社 (Y933 ユ)

魔王の指輪を破壊する旅に出たホビット族のフロド。それを助ける魔法使い、エルフ族、ドワーフ族、人間の8人の仲間。行く手に待ち受けるものは？

ファンタジー史上に輝く不滅の<sup>きんじとう</sup>金字塔。ハリウッド映画「ロード・オブ・ザ・リング」の原作本です。

世界三大  
ファンタジー



### 『ライオンと魔女』

C.S.ルイス／作 岩波書店 (Y933 ナ)

田舎に疎開した4人の兄妹が、大きな衣装だんすに入ると、それは雪の降り積もる別世界「ナルニア」へと続いていた。4人はそこで、正義のライオンアスランとともに、白い魔女の軍隊と戦うことに。偉大なる創造主アスランがつくった「ナルニア国」の誕生から滅亡までを、人間の子もたちの冒険を通して描く「ナルニア国ものがたり」シリーズ。それぞれ魅力あふれる7つの物語が織り成す、<sup>そうだい</sup>壮大な年代記です。

### 『影との戦い』

ル・グウィン／作 岩波書店 (Y933 カ)

真の魔法を学ぶため魔法学校に入学した少年ゲド。自分の並はずれた力に得意になった彼は、禁じられた魔法で、自らの“影”を呼び出してしまう。無数の島々と海からなる「アースシー」の世界で、並外れた魔法の力をもつ男ゲドがくり広げる<sup>はらんばんじょう</sup>波瀾万丈の生涯を軸に、アースシー世界の光と闇を描いた「ゲド戦記」シリーズの1作目。全6巻と外伝があります。

# 外国のファンタジー

## 『クラバート』

オトフリート・プロイスラー／作 偕成社 (Y943 ク)  
不思議な夢の声に導かれ、水車場の見習いになった少年クラバート。この謎めいた水車場で、親方から魔法を習うようになるが…。ドイツの一地方に伝わる伝説をもとに書き上げた、ロマン大作。

## 『モモ』

ミヒャエル・エンデ／作 岩波書店 (Y943 モ)  
時間どろぼうの一味「灰色の男たち」と、盗まれた時間を取り返してくれた女の子モモの不思議な物語。現代人にとって「時間」とは何かを問う、異色ファンタジーです。

## 『ムーミン童話全集 全8巻』

トーベ・ヤンソン／作・絵 講談社 (Y949 ム)  
世界中で愛される、フィンランドからの贈りもの。ムーミン谷で暮らす妖精ムーミントロール一家と仲間たちの、じんわり心あたたまる物語。

## 『ハリー・ポッターと賢者の石』

J.K.ローリング／作 静山社 (Y933 ハ)  
「ハリー、おまえさんは魔法使いなのだ」。魔法学校からの手紙が、孤児ハリーの運命を変えた！映画やUSJのアトラクションでおなじみ、世界中で夢中にさせた「ハリー・ポッター」シリーズの第1作。

# 日本のファンタジー

## 『精霊の守り人』

上橋 菜穂子／著 新潮社 (YBF ウ)  
文化人類学者でもある著者が紡ぐ、人の世界と精霊の世界。精霊の卵が宿った皇子チャグムを、女用心棒バルサが守る！バルサとチャグムの運命を軸に展開される「守り人」シリーズは、「旅人」シリーズを含め全10巻。短編やガイドブックもあります。

## 『空色勾玉』

荻原 規子／作 福武書店 (YF オ)  
神々が地上を歩いていた古代日本、光と闇がせめぎ合う戦乱の世を舞台に、「水の乙女」と「風の若子」の運命の恋を描く。『空色勾玉』と合わせ「勾玉三部作」と称される『白鳥異伝』『薄紅天女』もおすすりめです。

## 『グイン・サーガ 1-137巻』

栗本 薫／著 早川書房 (YBF グ)  
豹頭の戦士を主人公にした、ヒロイック・ファンタジー。架空の世界、架空の時代に生きる、さまざまな人物の生と死の波乱を描いた大河小説。栗本薫が死去した2009年の時点で130巻まで刊行され、一人の作家が手がけた作品としては世界最長。いまでも複数の作家によって書き継がれ、物語の世界は続いています。

## 『月の影 影の海上・下』

小野 不由美／著 講談社 (YBF オ)  
平凡な女子高生が、ある日突然、王にされてしまったら？麒麟に選ばれた王が治める十二の国から成る古代中国風の異世界を舞台に、王になった少女の成長を描く「十二国記」シリーズの、本編第1作。現在8作目の『黄昏の岸 暁の天』まで刊行。シリーズ0『魔性の子』も。

## 担当者より

子どもころ、テレビアニメ「ムーミン」のキャラクターを、無理やり現実世界の生きものに当てはめていました。ムーミン一家はカバ、スナフキンやミイは人間、ニョロニョロはムカデ etc…。で、いちおうは納得していました。彼らは妖精、ファンタジー世界の住人で、なんでもありだったんですね！それを、かなり年をとってから知った、夢のない㊦です。㊦